

議会報告会 記録(概要) 報告書(総務班)

開催日時	令和4年11月14日（月）午後2時00分 ～ 午後3時45分			
開催場所	落合公民館 会議室			
班 員	齊藤正三(班長)	荒川礼子(副班長)	山越享太郎	生井一郎
	大島浩	斎藤宏明	瀬高哲雄	/
参加者団体・人数	落合地区まちづくり協議会設立準備委員会・6人			
意見交換テーマ	これからのまちづくりについて			
意見・課題など			会議の中で出た解決方法など	
①自治会への加入や参加の問題 ・自治会活動への参加率向上 ・活動に参加する人が同じである ・自治会の役員のなり手がいない ・盆踊りを各自自治会単位でやっているが、落合地区でまとまってやっではどうか。			・自治会の必要性を伝え、自治会を身近に感じてもらう。 ・広報紙を作成して、配付していく。 ・多くの意見を集約して活動へ繋げていく。 ・他市の行事を参考にする。 ・主催者が楽しく行事を行う。	
②高齢者や交通弱者の問題 ・交通弱者への対応 ・高齢化に伴い移動手段がなくなる。 ・交通手段がない。(高齢者)買い物、介護。 ・独居老人の家の庭木、草の手入れを地域でどうにかできないか。			・自治会単位での高齢者見回り、組織を結成する。 ・デマンドバスのような安価で利用できる車(ドライバーを含む)を地域で用意する。 ・独居老人が病院、買い物に出られるような市巡回バスがあると便利である。	
③長寿会や婦人会の加入 ・落合地区婦人会の存続(高齢化で会員が減っている。)退会する地区が多く、現在3地区のみである。 ・老人会の未結成地区の結成促進。 ・長寿会(老人クラブ)に入会する人が少ない。未結成の集落もある。			・婦人会とネーミングが古くさいので、若い人が入りやすいネームを考える。 ・行事に参加してもらうように案内する。	
④若者の雇用や少子化の問題 ・若い人達が地域に根付かない。 ・勤めるところが地元になく、若い人が地区外に出ていってしまう。 ・若者が集まれる場所が少ない。 ・日中は若い人が少なく高齢者のみとなる。 ・小学校の入学児が少ない。			・人づくりを行っていく。	
⑤落合地区の課題・活性化 ・商業施設が少ない。 ・人口減を解消するのではなく、今住んでいる人をどう考えるか。 ・下小代駅前の整備 ・ピザ窯、中学校内遊歩道の活用 ・小・中学生を中心に落合地区についてのPR. よいところを考える。 ・まちづくりを課題にしているが、住民意識を高める必要がある。			・ふれあいの場の提供。自治公民館、落合直売所などを利用。 ・落合地区の活性化。ピザまつりや、野外演奏場を使用した演奏を企画する。 ・落合地区のよいところを語ろうの会を開く。 ・コロナが落ち着いたら、またピザまつりを復活させる。 ・人づくりを行っていく。	
⑥伝統文化 ・文化活動などの後継者がいない。育たない。 ・伝統芸能もコロナで3年間、何もできない状態となっている。行事への参加率の向上。			・小学校での文化活動への参加促進。 ・伝統文化「きてみてマップ」を作成したので、このマップを活用した授業を取り入れてもらう。	
⑦空き地・空き家 ・空き家対策 ・空き地の雑草対策			・空き家を整備し、若い人に安く提供する。	
⑧スポーツ ・スポーツクラブチームの充実 ・スポーツ協力事業への参加率を上げる。			・軽スポーツなど参加しやすい行事の企画。	

<p>⑨農林業の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業の担い手が高齢化している。 ・イノシシやシカなど獣害がひどい。 ・二酸化炭素の削減のため、森林資源の活用 ・米作り中心のため、現在の米の買い取り価格の低下、資材高騰が不安 ・下板橋猪倉線の延長を考えてほしい。粗大ごみを置いて置かれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直売所などを充実し、地産地消を進める。 ・バイオマス発電所の設置 ・水道を活用した小電力の研究、地熱発電。 ・山林、農地と関連した整備。
<p>⑩信号機の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下板橋地内への信号機の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学時間帯の交通指導員の配置。 ・交差点のサークル(ラウンドアバウト)化
<p>【班としての総括・今後の方向性】</p> <p>今回の意見交換は、グループワーク形式で行い、落合地区のさまざまな課題と前向きな解決方法が提示された。課題を見ると、落合地区の課題ではあるが、総体的には、各地区に共通する課題のものが多い。特に、自治会への加入や参加の課題に対する改善策については、自治会独自に広報紙を作成し配付する、自治会の必要性を伝え自治会を身近に感じてもらう、多くの意見を集約して活動に繋げていくなど、自治会の加入や参加に有効な意見が出された。また、高齢者や交通弱者の問題に対する改善策についても、自治会単位での高齢者の見回りや組織を結成するなど、ほかの地区でも参考になる意見が出された。一方、若者の雇用や少子化の問題は、市全体で取り組まないといけない課題であり、解決策の意見があまり出なかった。そのため、市としてもこの施策について、積極的に取り組んでほしい。今後は、今回出た有効な解決策の意見をホームページ等により周知していき、これらの意見を活かした委員会の運営を行っていきたい。</p>	

広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和4年11月22日

班長 齊藤 正三